

十月の節気は寒露と霜降。  
朝夕めつきりと冷え込む季節です。

## デイサービス八重桜本店

【五都琴】

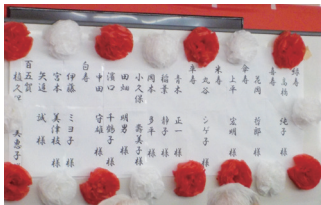
お琴の音色は日本人の心に響くもの。本日はボランティアの方に来ていただき、大正琴を演奏していただきながら皆さままで歌を歌いました。秋を感じる三曲からはじまり、皆さまがよく知る歌謡曲の演奏へ。「高原列車は行く」「瀬戸の花嫁」と普段のカラオケレクリエーションで長く歌われる曲が続くと、皆さま楽しそうに口ずさまれます。歌声は大正琴の音色と響き合って楽しいフロアに広がっていました。

歌の前にはそれぞれの曲の意味や情景の説明があり、曲の合間には大正琴に関するクイズも。名前の通りに大正時代に誕生したこと、タイプライターを参考に名古屋で誕生したことなど様々な情報が出るたびに皆さまからは感嘆の声が上がり、大正琴の魅力の深さに興味を示されていました。ご利用者さまからは次回の開催を希望する声も多数挙がっていました。また来ていただければと思います。



【敬老会】

八重桜にとって大事なイベントである敬老会。今年も皆さまに感謝を込めてお祝いさせていただきました。お祝いの年齢に該当しているご利用者さまには事前に色紙に手形を押していただき、その色紙にお名前と該当する長寿祝いを書いてお渡ししました。今年は緑寿一名、喜寿一名、傘寿一名、米寿一名、卒寿七名、白寿三名、そして百五賀一名と本当にたくさんのご利用者



さまが記念すべき日を迎えられるように、色紙贈呈の後には職員一人ずつが皆さまにお祝いの言葉を述べました。中にはうれし泣きをされるご利用者さまもおられ、皆さま無事にこの日を迎えられたことをうれしく感じます。最後にプレゼントを全ご利用者さまにお配りし、紅白饅頭のおやつを召し上がっていただきました。八重桜ご利用の皆さまは元気いっぱいの方が多く、年齢を感じさせない方もたくさんおられます。このまま益々お元気に過ごしていただけたら幸いです。

体温調節に気を付けてください。

## 二〇二四年度介護保険法改正①

西 勝康

介護保険法は基本的に三年毎に介護報酬の改定に合わせ見直しが行われています。過去における改定のなかで二〇二二年度に新たなサービスとして定期巡回随時訪問介護看護と看護小規模多機能型居宅介護が創設されましたが、それ以来の大きな変化になると思われる新複合サービスが始まることになりました。訪問介護と通所介護の両サービスが一体的に提供されるという事です。

只し送迎の対応が必要ですが。またデイの予定をキャンセルした場合に訪問サービスに切り変えることもできます。ご利用者さまにとっては非常に使い易いサービスになると思われます。

## 桜の広場

この新複合サービスは既に通所事業を行っている事業者は参入しやすいでしょう。しかし通所事業所の面積基準は一人につき三平方メートルという決まりがあり簡単に定員を増やすことはできないので、どの程度の定員枠が空いているかによって新規受け入れ数も制限されることになると思われます。

そもそもこの新サービスの発想は訪問介護の人材不足に端を発しています。ヘルパーさんの求人倍率十五倍という異常な状況に対して、デイサービスの職員が訪問できるようにすることで緩和したいという思惑もあるように見えます。一回では伝えきれない内容なので次回もこのテーマでお話したいと思います。

まだまだ決まっています。詳細についてはまだ決まっていますが、介護サービス費については包括月額制になり、現在の小規模多機能型居宅介護等と同様になる予定です。更に利用方法もデイサービスの利用時間も柔軟になるでしょう。わかりやすく言うとう帰りたい時間を自由に決められるかもということです。



## デイサービス八重桜 朱雀

【敬老会】



これからも、楽しいイベントも考えていきますのでよろしくお願いいたします。

朱雀館でも皆さまと共に敬老の日を迎えることができ、職員一同はたいへん嬉しく思っております。心よりお祝い申し上げます。皆さまのご長寿をお祝いしたいと考え、また日頃の感謝の気持ちを込めまして敬老会を開催いたしました。まず初めにビンゴ大会をし、次に三六五歩のマーチとつめぼし体操を職員と皆さま全員で踊って楽しみました。最後に、今年卒寿になられた方が一名おられましたので色紙をプレゼントさせていただきインタビューと写真撮影を行いました。「ありがとうございます。良い日になった。」という言葉をいただき職員一同はとても感激しました。皆さまと一緒に楽しい時間を過ごし、日常とは違った特別な思い出を作りたいと考えております。

【箱でドミノ倒し】

朱雀館では毎日様々なレクリエーションを行っていますが、その中でも人気のあるレクリエーションは「箱でドミノ倒し」です。このゲームではテーブルの上に間隔を空けて箱をいくつか並べて置きます。テーブルの端からボールをボーリングに見立てて投げ、その箱を何個倒せるかを競つというものです。

レクリエーションの説明を皆さまに行った途端、皆さまはとてやる気に満ち溢れておられました。おひとりずつボールを投げていただき、箱を倒してドミノ倒しを競つて楽しみました。その際、掛け声を出して皆さまとても笑顔で取り組まれて盛り上がりました。これからも、皆さまに楽しんで笑顔で過ごしていただけるように様々なレクリエーションに取り組んでいきたいと思っております。



## デイサービス八重桜 押熊

【ミニサッカー】



圧が上がってしまわないか心配しましたが、終わってからも「ええ運動になった」と楽しそうにお話されている姿が見れて良かったです。

サッカーといえばボールを足で蹴るスポーツですが、押熊館では机の上で手でボールを転がすミニサッカーに挑戦しました。四対四に分かれてゴールに向かってボールを転がしました。「サッカーをします」とお声掛けをしてチームを編成します。力の強い弱いもあり、なかなかゴールまでボールを運べない方もいらっしやいましたが、諦めることなく何度もチャレンジをしてくださっていました。両チームとも、ゴール前の鉄壁のようなゴールキーパーのおかげでなかなか点数が入りませんが、キーパーの間隙をついてゴールを決めると皆さま大喜びをしました。

【敬老会】

今年の敬老の日には卒寿となった方はお一人いらっしゃいました。色紙に手形を取り、お祝いをさせていただきました。「おめでとございませう」と言いながら色紙を渡すと、今まであまり見たことのない笑顔で「ありがとうございます」と受け取ってくださいました。ほかのご利用者さまには、色とりどりの可愛らしいフェイスタオルをプレゼント。昼食にはちらし寿司を作ってくださいました。「酢飯は久しぶりやな」「やっぱりおいしいな」と嬉しそう。おやつにはフルーツをたくさん使ったパンケーキを召し上がっていただきました。皆さまパンケーキがお好きなようで、今回はフルーツもあるので喜んでくださいました。おいしそうに召し上がられるお顔が見れて準備した甲斐がありました。今年の敬老の日も皆さま元気に迎えられ、来年も皆さまと一緒に迎えたいです。





## デイサービス八重桜 平城

【敬老会】



平城館のご利用者さまは敬老会があるご年寄り扱いして「などと言われる元気な方々が沢山おられます。そこで、日頃の感謝を込めて皆さまの長寿のお祝いといたしました。今年はボランティアの方で作っていただいた巾着袋と職員が作ったストラップをプレゼント。こちらが渡すのではなく、皆さまに選んでいただきました。「これも良い」「どっちにしよう、決められない」などと迷われている様子がとても微笑ましかったです。次に皆さま全員で記念撮影。全員で写真を撮る機会も少ないので、皆さまが集まっている姿を見て涙を浮かべる職員もいました。職員からは自然と「元気でいてね」「いつもありがとう」「また来年も写真撮りましょう」などと声が掛けられました。皆さま、これからも明るく楽しい時間を共に過ごしましょうね。おめでとうございます。

## 八重の家

【敬老会】

敬老の日は過ぎてしまいましたが、八重の家では九月二十日にデイサービスにて日頃の皆さまへの感謝を込めて敬老会を開催いたしました。

会は相田みつをの「自分の番 いのちのバトン」の朗読から始まりました。いくつもの命のバトンが受け継がれ今の自分が存在する。そしてそれは奇跡のようなものであるといった内容ですが、皆さまとても感慨深い思いで聞かれている様子でした。次に、日頃の感謝を込めて手作りのストラップを皆さまにプレゼントさせていただきました。皆さま、満面の笑顔で「ありがとう」と言ってくれました。また、還暦・米寿・卒寿と節目のご利用者さまが七名おられるので、その方々には特製の手形入りの色紙を贈呈いたしました。ラストは施設長が締めめの挨拶と「世界に一つだけの花」を熱唱し、敬老会は終了しました。皆さま楽しんでいただけたでしょうか？ 来年も一緒にお祝いしましょうね。



## デイサービス八重桜 西奈良

【お金釣り】



本日のレクリエーションは「お金釣り」です。「お金」のワードに引き寄せられ多くのご利用者さまが参加してくださいましたが、本物のお金ではない事を知ると少しくくりされた様子。お金はいくらあっても嬉しいですね。

ゲームでは本物の様に見えるお札を床に広げ、魚釣りのルールと同じように釣っていただきます。同じお札に見えても釣りあげてみると、百円札であったり、五百円札、福沢諭吉の一万円札と種類はバラバラで、沢山釣り上げたからといって高額になるとは限らないのがこのゲーム。ゲームの後半では皆さま釣り上げるペースが落ち、いかに高額なお札がどこにあるか探すのに夢中になっておられました。釣ったお金は、ご自分で計算していただき合計額を発表していただくので、脳トレにもぴったりのゲームでした。

【敬老会】

ご利用者さまの人生の大事な節目をお祝いさせていただきますたく、敬老会を開催しました。昨年は開催できなかったのですが、今年は開催することができて本当に良かったです。西奈良館で敬老会のお祝いの対象となった方は十一名いらっしゃいました。事前にとった手形の色紙をひとりひとりお渡しし、一言をいただきました。中には泣いて喜ばれている方も。その後は職員による出し物で楽しんでいただきました。西川貴教でフロアが盛り上がった後は、余興でマツケンサンバ玉入れ。職員がへとへとになるぐらいの運動量。最後はお相撲さんに扮した職員が「明日があるさ」を披露。大笑いの渦の中で今回の敬老会は終了。余談ですが、お相撲さんの着ぐるみは今回で壊れてしまったとのことですよ。





お伊勢参り

石津 和生



一度はお伊勢さんへというフレーズをよく耳にしますが、私はすでに通算百回は行っていると思います。始まりは、母が癌の手術以降気が落ち込んでいたのを連れ出したのがきっかけです。それまでは、どこそこに行ってみようかと誘って面白い返事がなかったのですが、伊勢神宮の紹介番組でも見ていたのです。う、二つ返事で行くと言ってくれ早速連れ出したのです。当時歩くのを敬遠していた母ですが、結構な速さで歩いてくれました。これが始まりでウォーキングを兼ねて月一で通うようになり母の外出が困難になるまで続きました。車で二時間少々で最寄りのICに着きます。内宮より先に外宮にお参りする外宮先拝という作法があり、たまたまですが初めての参拝も外宮から行きました。御正宮・摂社・末社をぐるりと回って三時間くらいだと思います。笑顔で歩いてくれた母を今でも覚えています。特に神馬見参には休みが合えば朝の五時出発で神宮に行きました。外宮・内宮にそれぞれ二頭の神馬がおりまして、一のおつく日(一日・十一日・二十一日)にその神馬が御正宮に参拝に来る神事が朝八時頃に行なわれ、神官さんと一緒にお辞儀をする光景を楽しみに見ていました。天候とお馬さんの健康状態で中止になること度々、これをみられるのは運がいいと...これからもいける限りお伊勢参りを続けたいと思っています。

俳句教室発表句(敬称を略します)

ぶどう狩り 鉄をいれて  
それを買う

磯野弘子  
自分で獲ったものはなぜ美味しいのでしょうか

イガを踏み 栗ご飯想う 栗拾い  
脊戸 キミ子

ごちそうのためならイガの痛みに耐えます

運動会 子供の頃は 楽しかった  
今 中言 静

子供の頃、何をしても楽しいですよ

途中下車 立ち食い蕎麦に  
したつづみ

川井弘子  
駅の蕎麦屋は絶品ですよ

栗拾い 先に越されし イノシシに  
石田正信

先客に越されましたね

庭先に コスモスの花 あでやかに  
西川道子

鮮やかなピンク色が秋の訪れを教えてください

ます

こころの遊歩道

医の基本は 予防にある

北里 柴三郎

八重の家通信 37

皆さまで楽しく、お好み焼きを作りましょう!

カフェ八重の家ではお盆期間にご利用者さま自身によるお好み焼きパーティーを行いました。中にはせっちな方がおられ、「まだまだ、ひっくり返すには早すぎますよ。」と言われながらも慌ててひっくり返して失敗したり。一方、焦らず騒がずゆっくり見守ってから、「そろそろ、ひっくり返しても大丈夫やね。」と、コテを使って上手に作られているグループもありました。



こんがり焼きたら、お好み焼きソース、かつお節、青のり、マヨネーズをかけて、できあがったお好み焼きを美味しくいただきました。キャベツは食べやすいように小さめに刻んでありましたので、柔らかく食べやすかったと好評でした。「久しぶりにお好み焼きを焼いたから楽しかったわ、たまにはこんなのもいいね。」和気あいあいとした、カフェの一日でした。



認知症予防あれこれ ⑥

認知症予防作業療法効果の実感③

藤村 俊城

前回同様に続き、今回も認知症予防特別プログラムへの反響のお声をご紹介します。

八十代女性本人「以前はデイサービスをよく休んでいたけど、ここに来るようになってからは楽しいから休んでいない」

八十代の男性本人二名「知らないことが多くて、もっと勉強したくなった」ここに来たらホンマためになるわ」

八十代女性への藤村の見解「記憶障害があり、表情は乏しく会話がズレがちでしたが、表情が良くなり言語表出も増え、記憶錯誤なく話すことが増えた」

これらはスタッフ全員の成果だと考えられます。中核症状の改善など想像もつかなかったことで、八重桜スゲー!と驚きです。

今後とも認知症問題に全力で取り組んでいきます。レッツ認知症予防!